

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

人間は自分で勝手に生まれてきたのではない 伊與田 覺 (論語普及会学監)

1. 「論語」や「孟子」と並ぶ中国の古典・四書五経の一つに「中庸」という書物があります。これはいまから 2400 年ほど前、孔子の孫である子思によってまとめられました。この「中庸」とは一言でどういう書物なのでしょう。「論語」は、孔子の語録集であり体系化されたものではありません。その非常に深い内容をまとめ、体系化したのが「中庸」だといってよいでしょう。
2. 「中庸」の精神は、その第一章に集約されていると思います。「天の命ずる之を性と謂い、性に率う之を道と謂い、道を脩むる之を教えと謂う」。これは第一章の冒頭の一文です。我々人間は勝手に生まれてきたように思っているけれども、これは天の働きによるものです。森羅万象はすべて天によって創造されたもので、それぞれの特色を持っています。
3. 人間は人間として、動物は動物として、草木は草木としてそれぞれの特徴を持ってここに生まれてきた。「性」というのはそれです。また、それぞれに与えられた働きがある。これを「天命」といいます。人間が人間となるための一番の目標は何か。結局、天から特別な使命を受けてこの世に誕生した、その使命を一生かかって完成していくことに尽きるのではないかと思います。(参考:「致知」2010 年 11 月号)

幹部への活きた言葉

成果を上げる四つの人間関係

(P. F. ドラッカー)

1. 人間関係に優れた才能をもつからといって、よい人間関係がもてるわけではない。自らの仕事や人との関係において、貢献に焦点を合わせるにより、初めてよい人間関係がもてる。こうして、人間関係が生産的なものになる。まさに生産的であることが、よい人間関係の唯一の定義である。
2. 仕事に焦点を合わせた関係において成果が何もないければ、温かな会話や風情も無意味である。逆に、関係者全員にとって成果をもたらす関係であるならば、失礼な言葉があっても人間関係を壊すことはない。大事なものは成果である。そして、成果を上げる人間関係に必要なものが、コミュニケーション、チームワーク、自主啓発、人材育成の四つである。

(参考:「週刊ダイヤモンド」:2010 年 8 月 7 日号)

経営者のために危機管理

大型小売店の開店数が激減

1. 「大型小売店総覧 2011 年版」によると、2009 年に開店した売り場面積が 1000 平方メートル超の大型小売店は、587 店と過去 5 年間で最低の出店数となった。2005 年から 2008 年までは、毎年 650 店から 660 店と安定した出店数で推移してきたが、2009 年の出店数は前年比で約 1 割減少した。
2. 1 万平方メートル超の大型施設の出店も 34 店と、2005 年以降の 103 店、90 店、92 店、95 店と続いていた傾向から見れば激減している。消費の冷え込みは出店数だけでなく、施設のスケールも縮小させてしまっている。

(参考:「週刊東洋経済」2010 年 8 月 7 日号)

古典に学ぶ

方向を誤ってはならない

「根本はすべからくこれ先ず培まようすべし。然しかる後、趨のち向すうこうを立たつべきなり。趨すうこう向すうこう既に正ただしければ、造いたる所ところの浅せん深しんは、即すなわち勉つとむると勉つとめざるとに由よる」

(訳)「まず根本をしっかりと把握してかからなければならない。そのうえで正しい方向を定めるのである。方向が間違っていなかったら、どの程度目標を達成できるかは、努力するかどうかにかかっている。「近思録」という古典にある言葉ですが、修養とか勉強の心得について語ったものです。

(参考:守屋 洋「リーダーのための中国古典」:日経ビジネス人文庫)